



## 4th MusicArte Memoria in Italia 2013



イタリアオペラの最重鎮  
マエストラマダ・オリヴェーロと共に…

ボローニャ国立音楽院元学長  
日本イタリア協会 特別顧問・運営委員

市庁舎迎賓館・市長主催歓迎式典

テアトロ・オリンピコ館長とトップキャスター

イタリア世界文化遺産・重要建築（宮殿・遺跡）舞台で開催される国際フェスティバルは、世界遺産「テアトロ・オリンピコ」、ヴェッキオ宮殿「五百人広間」はじめ、イタリア全五ヶ所の解消すべてが満席となった客席の前で日本代表が堂々と演奏し、何ものにも代え難い貴重な経験と誉れに…。



毎年イタリアでの注目が非常に高く新聞の一面を飾る。2012年の記事ではイタリアオペラ界の最重鎮であるマエストラ マグダ・オリヴェーロのお姿も。著名音楽家だけでなく前駐日イタリア大使閣下やミラノ侯爵、NATO最高位将軍閣下など通常では考えられないVIPに多数ご来賓頂き、華々しく開催され、大成功裏に閉幕となった。

第4回となった2013年7月…イタリアを代表する世界文化遺産・重要文化財の国際舞台において日本全国から選出された才能溢れる若き音楽家達がレベルの高い演奏を大舞台において堂々と披露しました。音楽に造詣深いイタリア人の心に深く響いた名演奏は、日本とイタリアの文化の絆がしっかりと結ばれた感動的な瞬間となりました。

イタリア名門5か所で開催された国際フェスティバル芸術祭は、イタリア外務省EU Direttore Generale閣下（前駐日イタリア大使）、国立音楽院学長、MilanoヨーロッパNATO最高位将軍閣下、ミラノ公爵、ミラノスカラ座関係者、在ミラノ日本領事など、各所大勢のVIPに見守られる中、連日満員のお客様に温かく包まれて喝采をうけました。

この日、第4回となったイタリア国際フェスティバル「タリア世界遺産芸術祭」は、日本とイタリアの親交が深まった重要な機会であり、日本人の芸術文化力でイタリア人を感動させ、親近感と同時に文化力レベルの高さを直接伝えることができた素晴らしい国際外交であったことを確信いたします。世界史に残る大舞台における貴重な体験の場を今後も継続して提供し、わが国の情操豊かな国際力を併せもつ優秀な人材を育むためにも、慎ましく努力する日本の美德を誇りながら、芸術の宝庫イタリアと日本を結ぶ文化の橋となって、更なる国際交流を繋げて参りたいと存じます。

## 経験し、体感し、学び、愉しみ…。 音楽家としての成長を支援。

誰もが知っている京都の高台寺での演奏会、東京紀尾井ホールでのゴールデン・ガーラ・コンサートをはじめ、日本国内でも様々な演奏機会が受賞者に与えられます。一流の舞台で経験を積むことでこれまでの方々も音楽家としての幅を広げています。このたびより多くの音楽家がその機会に恵まれることでしょう…そして、世界へと…



4th MusicArte  
Memoria in Italia 2013